

令和5年度

(介護予防) 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

川崎町 笑顔の家

(TEL:0947-44-6611)

1. 「サービス評価」総括表



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 ベストケアカンパニー	代表者	代表取締役 宇都宮 浩	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は、地元池尻地区を中心に川崎町全体の在宅高齢者にきめ細かい介護サービスを提供することで、住み慣れた自宅でいつまでも暮らすことができるよう支援する施設として川崎町で最初に事業所指定を受けました。親しみやすい運営を基本に、365日24時間の隙間ないサービスの提供と専門職の配置により、安心してサービスをご利用いただけます。また、同一法人内にて介護施設を運営している為、バックアップ体制も整っております。
事業所名	川崎町 笑顔の家	管理者	管理者 永田 雄基		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	6人	人	人	10人	人	19人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・自己評価のチェック項目の意味と実際の業務の結びつきを理解できるように、フィードバックを行う。	・管理者による各職員の個別面談を実施し、チェック項目の確認と業務遂行状況、結びつきを説明し、自己評価に望めるよう、対応した。	・職員の方全員で自己評価に取り組んでいることはよくわかる。 ・今後も継続して地域に期待される事業所作りをして欲しい。	(継続) ・自己評価のチェック項目の意味と実際の業務の結びつきを理解できるように、フィードバックを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所に入りやすいように、玄関周りの外観を整え、明るい環境作りに努める。	・介護保険各種相談が受けられる旨の表示と入り口付近は季節感がある装飾を行っているが、利用者家族等のみ把握しており、地域には浸透していない。	・季節に合わせた飾りつけを毎回されており、季節感を感じられる点が良いのではないかと。 ・事業所内の模様替えもされ、緑も多く癒しの空間と感じる。 ・コロナが落ち着いてきたが、インフルエンザ等の感染対策の為、来所は控えているので、詳細はわからない。	(継続) ・事業所に入りやすいように、玄関周りの外観を整え、明るい環境作りに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	・広報活動や詳細な状態報告書を作成し、地域の方に内容を知ってもらう。	・広報誌等の作成は、定期的に行っているが近隣への配布や地域に向けての広報活動はできていない。	・ホームページ等で事業所の内容は拝見している。今後の事業所のイベントや地域の行事に相互で訪問できる関係性があると良い。 ・広報誌等の配布等も検討してみてもどうか。事業所の様子が今より詳細にわかるのではないかと。	(継続) ・広報活動や詳細な状態報告書を作成し、地域の方に内容を知ってもらう。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・本人が望む「地域」への参加が出来るよう、地域行事やイベントについて出来るだけ参加できるように支援する。</p>	<p>・買い物やドライブ等を通して、馴染みの場所への出かける支援を行い、関係性が切れない環境形成に努めた。地域行事への参加はできていないが、参加できるイベントがあれば情勢をみながら参加したい。</p>	<p>・地域行事はまだまだ中止の傾向であるが、情勢をみながら無理なく参加してほしい。 ・買い物やドライブ等により馴染みの場所を継続している所が良いと思う。 ・近隣の方への介護相談や悩みを聞いてあげられる場があるともっと良くなると思う。</p>	<p>(継続) ・本人が望む「地域」への参加が出来るよう、地域行事やイベントについて出来るだけ参加できるように支援する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・事業所だけでなく今後は地域における福祉の課題や、事業所に求められる役割等も意見交換し、活動に生かしていきたい。</p>	<p>・地域の課題や福祉の課題等について、意見交換が出来ていない為、今後、力を入れていきたい。</p>	<p>・地域について皆で、考えて共有するには至っていないので、双方で協力していきたいと思う。 ・事業所の役割には期待しているので、様々な活動に繋げてほしい。</p>	<p>(継続) ・事業所だけでなく今後は地域における福祉の課題や、事業所に求められる役割等も意見交換し、活動に生かしていきたい。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・近隣住民の方にも参加してもらい防災訓練を実施する。防災計画等を説明する機会をつくる。</p>	<p>・昨年に引き続き、事業所内での実施に留まっており、まだまだ感染対策が必要と考え、近隣住民参加型の訓練は出来なかった。</p>	<p>・近日では災害ニュースが多く、命を守る行動が重視される中で、近隣との協力関係を築き、日頃から防災意識を共有する必要がある。 ・見守る程度しか、訓練に参加できない為、申し訳ないと思う。 ・災害時には、避難場所や地域住民の拠点として期待している。</p>	<p>(継続) ・近隣住民の方にも参加してもらい防災訓練を実施する。防災計画等を説明する機会をつくる。</p>